

令和 7年 11月 25日

南箕輪村議会議長 様

提出者名 西森一博

議員研修・議員視察結果報告書

研修名または視察テーマ	伊北議員研修会 ウェルビーイング実践校 TOKO-TON 「子どもが主役の学校づくり」
研修・視察実施場所	地域交流センターみのわ
研修・視察の期間	令和7年 11月 25日
研修・視察の成果等	<p>箕輪町が取り組む「ウェルビーイング実践校 TOKO-TON」について、箕輪町教育委員会の小林久未通教育長から説明がありました。</p> <p>箕輪町では「子どもが主役の学校づくり」を掲げ、変化が大きく多様化する社会の中で、子どもたちがこれからの時代を“生きぬく力”を身につけられるよう、学校教育の方向性を定めて取り組みを進めていました。</p> <p>まず、子どもが安心して学べる環境づくりとして、町内の学校ごとに「グレードアッププラン」を策定し、学校の特色を生かしながら学級・学校の環境改善に努めているとのことでした。また、授業においては、子どもが主体となって課題を見つけ、深く学ぶことができるような授業づくりを推進しており、教育 DX の導入によって自ら課題を解決する力を育む工夫も進めていると説明がありました。</p> <p>さらに、地域学習にも力を入れており、「ふるさと学習」や「箕輪学」として、各校の地域性を生かした学びを展開しています。地域住民の協力を得ながら、学校に「ふるさとルーム」を設</p>

	<p>置し、地域との交流を深める拠点づくりを進めている点が印象的でした。</p> <p>今回の研修を通じて、箕輪町では学校を単なる学習の場としてだけでなく、地域と子どもをつなぐ交流の場として位置づけ、町全体で子どもを育てる体制を整えていることがよく分かりました。南箕輪村でも、地域との交流や子どもの居場所づくりは重要な課題であり、特に「ふるさとルーム」のような取り組みは今後の参考になるものでした。</p>
--	---

※研修・視察終了後、議長または委員長が定めた期日までに提出すること。